

第6回東近江市総合計画審議会及び第3回政策推進懇話会 【会議録要旨】

■日時：令和7年11月20日（木）午後2時から午後3時30分まで

■場所：東近江市役所317・318会議室（新館3階）

■出席者：計30名

委員 13名（欠席者 7名）

深尾昌峰委員 矢島之貴委員 向 春美委員 井上由美委員 安田 剛委員
増田伊知郎委員 山崎 亨委員 大塚ふさ委員 青地弘子委員 上阪よう子委員
谷川尚己委員 長谷川嘉彦委員 藤田明男委員
(欠席者：谷川裕一委員 湯ノ口絢也委員 原 英児委員 村田吉則委員
堤 洋三委員 白銀研五委員 筒井 正委員)

事務局 9名

企画部 部長 中堀智之 次長 古川 晓
政策推進課 課長 上林亜紀 課長補佐 福井敦教 係長 小杉武史 主事 古川祐磨
株式会社地域計画建築研究所 石井 山本 高瀬

1 開会

事務局	○お忙しい中、第6回東近江市総合計画審議会及び第3回政策推進懇話会へ御出席いただき感謝する。以降の進行を会長（座長）にお願いする。
会長	○忙しい中、参考していただき御礼申し上げる。只今から、第6回東近江市総合計画審議会を開催する。 ○第3次東近江市総合計画については、本日は最終的な確認の段階であり、主に修正点について、御意見をいただければと考えている。 ○これまで御議論いただいた内容を踏まえ、事務局でもできる限り対応して資料を整えてもらっている。事務局から資料の説明をお願いする。

2 議題

【総合計画審議会】（進行：会長）

(1) 第3次東近江市総合計画第1期基本計画（案）について（資料1・2）

・事務局から資料1・資料2を説明

会長	○説明があったように、これまでの議論を受けて事務局で真摯に検討し、対応していただいたと理解している。次回はいよいよ答申となるため、本日が実質的な最終局面である。「これだけは確認したい。」という点があれば、どこからでも結構であるので、御発言いただきたい。
委員	○4点確認したいことがある。 ○P.28、将来人口のところで青で消してある部分についてであるが、これは以前、委員の意見を受けて入れた記載だったと記憶している。今回これを削除しているのは、やはり不適切だと判断したということか。

事務局	○グラフを挿入するに当たって、青字の記載が限定的な施策を直接示しているように読めるという懸念があったため、表現の一貫性を考え削除した。
委員	○今回削除された出会い系支援や結婚支援等といった観点が施策から消えるわけではなく、計画の中には位置付いているという理解でよいか。
事務局	○その通りである。
委員	○P. 38と P. 39の成果指標であるが、どちらも目標値が基準値よりも下がっている。これはどういう理由か。
事務局	○こちらは虐待対応件数の指標であり、件数が減ることが望ましいという考え方からこのような設定にしている。
委員	○P. 113 の農業施策について、農地面積の指標については、都市計画の観点から農地が増えることが難しいという説明は理解できる。しかし、農林水産省がスマート農業を進めている理由でもある農業の生産性の観点からの指標が必要ではないかと考えている。その点についてはどう考えるのか。
事務局	○今のご質問に関連して、P. 115を御覧いただきたい。農地の確保については市街化の編入や荒廃農地の増加などによって、総量としては減少が見込まれる状況にある。その中で、できる限り減少幅を縮めたいという思いがある。こうした前提の中で、P. 115に示している水田野菜の作付面積の拡大は、農地を有効活用し、生産性の向上にもつながらないかという視点で設定している指標である。生産性に関する指標が全くないわけではなく、この水田野菜の拡大や高収益作物の導入を通じて、一定の生産性向上を目指しているという位置付けである。
委員	○これは減反の話となるのか。
事務局	○水田野菜というのは、米か麦を栽培した水田にシーズンが終った後で別の野菜を植えるというものである。畑は畑、水田は水田で区分されており、減反を使うという意味ではない。
委員	○水田で野菜や大豆を作ると補助金が出るため、転作に近い扱いで進められているのではないか。いずれにしても、その取組は労働生産性の向上という位置付けにはつながらないと感じている。
事務局	○P. 115 の 3 つ目の丸を御覧いただきたい。収益性の高い野菜の作付を拡大すると示しており、この高収益野菜の積極的拡大を通じて、生産性の向上にもつながるという意図を含んでいる。その点で、指標としては不十分ではなく、一定の意味は持たせている。
委員	○P. 119 に農業産出額が示されている。数値としては上昇しているため、この指標を見れば生産性が上がっているのだと読み取れる。ただ、近年は物価上昇も大きく影響しているため、実質的な生産性がどこまで向上したのか、そこには疑問を持っている。その点を踏まえると、やはり生産性そのものを捉える指標をもう少し検討する余地があるように思う。
事務局	○御指摘のとおり、引き続き検討を要する部分であると認識した。
委員	○上下水道について、6月6日に閣議決定した国土強靭化持続計画の中で、年100%実施という国の目標が上げられているにも関わらず、検討中でいいのかは疑問に思う。

事務局	○国の動向について担当部に確認する。
委員	○P. 104の施策1にし尿の適正管理とある。「適正処理」なら意味が分かるが、「管理」では具体的にどういうことを想定しているのか不明瞭である。
事務局	○表現が曖昧であるため、担当部と調整する。
会長	<p>○ほかに御意見はあるか。特に追加で確認したい点がなければ、ここで本日の審議内容を委員として御確認いただいたものとして扱わせていただきたい。</p> <p>○本日の議論を踏まえ、皆様からいただいた御意見には幅広いものが含まれている。後日、思い出された点があれば、今月中に事務局まで御連絡いただきたい。お寄せいただいた御意見については、修正の要否や反映の仕方を私と事務局で最終的に協議し調整を進めるので、その点は御一任いただきたい。</p> <p>○これらのプロセスを経て、次回の審議会では「答申」という形で市長にお渡しできるよう、最終調整を行っていく。</p> <p>○本日も非常に熱心な議論をいただいた。皆様それぞれの専門的な視点から多様なコメントや御意見をいただけたことで、より良い内容の答申につながると感じている。</p> <p>○それでは、本日の審議会としての議論はここで一区切りとしたい。改めて申し上げるが、11月中には何かあれば追加の御意見をお寄せいただきたい。</p> <p>○以上をもって、本日の総合計画審議会を終了する。</p>

【政策推進懇話会】（進行：座長）

(2) 第3期東近江市総合戦略（素案）について（資料3・4）

・事務局から資料3・4を説明

座長	○第3期東近江市総合戦略（素案）に関して、質問・意見等があれば伺いたい。
委員	○前回の人口ビジョンの説明では、出生率の低下と転出超過の2つが主要因として示されたが、この総合戦略において、どちらがより深刻な課題と捉えているのか、改めて伺いたい。
事務局	○出生率の低下も転出超過も続いている、どちらも重要な課題であると考えている。
委員	○どちらも大事というのは理解するが、より深刻なのはどちらかという点について伺いたい。
事務局	○深刻なものは出生率の低下である。これは全国的な課題でもあり、本市でも確実に低下が進んでいる。国の施策動向にも左右されるが、このまま対応を怠れば人口は更に減少していくと考えている。
委員	○であれば、その深刻な出生率の低下にもう少し重点を置いた戦略が必要なのではないかと感じている。
事務局	○合計特殊出生率に対する施策は当然必要である。一方で、魅力あるまちをつくり、転入が転出を上回る状況をつくることで、子育て世帯の流入につながり、結果として出生率が上がるという側面もある。現時点では子育てしやすい環境づくりを特に重視したいと考えている。また、本市では結婚サポート事業も展開しており、今後はその点も強化していきたい。

委員	○基本目標の順番にやや違和感がある。
事務局	○まずは誰もが安心して働き住み続けられることが最優先であり、今住んでいる方を大切にするという意味でも土台となる。その上で、若い世代が、働く・結婚する・出産する・子育てるといった希望をかなえられる環境をつくることが必要となる。さらに、地域資源の活用や賑わいの創出によって、人口減少が進む中でも魅力あるまちとして存続できるよう、この順番で設定している。
委員	○最近は熊の出没等も多く、森林の問題が全国的にも話題になっている。今年の状況を踏まえ大きく変わるとと思うが、自然保全や森林に対する考え方は、次期計画でどのように扱われるのか。
事務局	○本市でも総合計画・総合戦略と並行して、環境部で次期環境基本計画の策定を進めている。森林や田園環境の保全・活用の視点はその中でも重要であり、企画部と環境部が連携しながら取組を整理しているところである。総合戦略の第3章の中でも、この自然環境に関する方向性をしっかりと示せるよう検討している。
委員	○資料4の基本目標「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」において、「若者や女性」という表現が2度出でてきている。せっかく若者と女性にフォーカスして、熱意のある問いかけをしておられると思う一方で、ここにいる私たちの年代よりも、むしろ当事者となる若い世代や女性の方々にどう伝えて行けるかを考える必要がある。懇話会の構成上、その年代の方が多いいるわけではないので、外の方、つまり対象となる世代にもきちんと届くような方法を今後検討していただけたらと思う。
座長	○確かに、誰に向けて、どの層の方々にどういう形でメッセージを届けていくかというのは非常に大事なところである。その点も踏まえて整理を進めていただければと思う。

(2) 東近江市過疎地域持続的発展計画について (資料5・6)

・事務局から資料5・6を説明

座長	○東近江市過疎地域持続的発展計画における取組状況(案)と東近江市過疎地域持続的発展計画(案)に関して、質問・意見等があれば伺いたい。
委員	○基本的には、事業計画の表において赤字で記載されている事業が新たに追加されたものという理解でよいか。
事務局	○そのとおりである。
委員	○P.33において、スポーツ振興に係る取組としてスポーツ施設の整備が記載されているが、施設を整備するだけでは不十分である。どのようにして地域の人が気軽に施設を使い、体を動かす機会を確保できるかという視点がスポーツ振興に欠かせないのではないか。
事務局	○学校開放の取組ともつながってくる。スポーツ振興については、関係する他部署とも連携を図りながら進める必要がある。担当部と記載内容を検討する。

3 閉会

副会長 (副座長)	<p>○今回の議論は東近江市全体にも共通する課題であると感じている。</p> <p>○市内にこうした状況が広がりつつある中で、「東近江市に住んでよかった」と感じていただける市民が一人でも増えるよう、市として取り組んでいかなければならない。</p> <p>○これから東近江市を担っていく若い世代の皆さん、安心して暮らし続けることができるよう市としてきちんと支えていく必要があると強く感じる。</p>
--------------	--

- ・司会進行を事務局に返す。

部長	<p>○本日予定していた議題について、長時間にわたり熱心に御議論いただき、多くの御意見を寄せていただいたことに御礼申し上げる。</p> <p>○総合計画については、考え方や表現方法等、全体にわたり幅広く御意見をいただいた。また、総合戦略では、基本目標の整理や若者にどのようにメッセージを伝えていくかといった観点について御指摘をいただいた。過疎計画についても、新たな事業の記載方法など、専門的な視点からの御意見をいただき、大変ありがたく受け止めている。</p> <p>○総合計画は、会長からの説明にもあったとおり、いよいよ最終局面である。来月には本審議会から答申をいただき、その後、パブリックコメントを経て、3月議会へ上程する流れとなる。本日いただいた御意見を踏まえ、計画の取りまとめを進めていきたい。後日でも構わないので、追加の御意見があれば政策推進課まで御連絡いただければありがたい。</p> <p>○来週から12月議会が開会する。今回、初めて市議会議員選挙後の議会を迎えることになる。議会中には、今まさに策定している総合計画について、議員にも改めて説明する予定である。今年8月にも基本構想部分について説明しているが、本議会でもしっかりと内容を伝えていきたいと考えている。</p> <p>○以上で閉会の挨拶とする。</p>
事務局	<p>○以上で、第6回総合計画審議会及び第3回政策推進懇話会を閉会する。</p> <p>○次回は12月24日(水)15時から開催予定。</p>

閉会